

<参考資料> 令和7年度 福井県 専門看護師・認定看護師一覧

専門看護師

分野名	活動できる講師数	分野の特徴(一部) *日本看護協会HPより抜粋	研修内容
がん看護	9	・がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供する。	がん患者や家族とのコミュニケーション エンドオブライフケア 人生会議の実際 アドバンスケアプランニング 看護倫理について 倫理カンファレンスの検討の実際 意思決定支援 症状マネジメント 認知症がん患者への意思決定支援 がんの親を持つ子どもへのサポート 地域との連携体制づくり スピリチュアルケア 住み慣れた地域で暮らすための退院支援 悲嘆やグリーフケア
精神看護	2	・精神疾患患者に対して水準の高い看護を提供する。また、一般病院でも心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供する。	精神疾患患者との関わり方 看護職員のためのメンタルヘルス 一般病院で実践できる暴力や自殺予防に関するリスクアセスメントと対応 認知症者への接し方 看護倫理(特に小児看護) 発達障害 新型うつ せん妄について 精神科薬物療法について
災害看護	5	・災害の特性をふまえ、限られた人的・物的資源の中でメンタルヘルスを含む適切な看護を提供する。平時から多職種や行政等と連携・協働し、減災・防災体制の構築と災害看護の発展に貢献する。	各施設での災害対策(防災・減災) 院内訓練企画 災害を想定した図上訓練 机上シミュレーション トリアージ 避難所・仮設住宅における看護支援 BCP 災害時のメンタルヘルス 在宅療養の方の災害対応 被災地支援 災害看護に関する基礎知識 疾患や対象者に応じた災害対策
小児看護	1	・子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する。	慢性疾患を持つ子どもと家族の看護 終末期を迎える子どもと家族への看護 小児がんと子どもと家族への看護 小児がん経験者への長期フォローアップ看護 小児・AYA世代がん患者の看護
老人看護	3	・高齢者が入院・入所・利用する施設において、認知症や嚥下障害などをはじめとする複雑な健康問題を持つ高齢者のQOLを向上させるために水準の高い看護を提供する。	高齢者の身体的、精神的、生活背景のアセスメント 高齢者の発達課題・高齢者への関わり方・認知機能が低下した方への関わり方 意思決定支援・看護倫理(特に高齢者)・せん妄の予防・身体拘束について 高齢者の脱水予防

認定看護師

分野名	活動できる講師数	知識と技術(一部) *日本看護協会HPより抜粋	研修内容
救急看護	10	・救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・災害時における急性期の医療ニーズに対するケア ・危機状況にある患者・家族への早期介入および支援	急変徴候、異常徴候の捉え方 急変時の対応(講義と実技) 一次救命処置 二次救命処置 院内トリアージ フィジカルアセスメント バイタルサイン測定の基本 アナフィラキシーショック 敗血症での看護 ファーストエイド 危機状況にある患者家族看護 救急カートの管理について
集中ケア	4	・生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 ・廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施	フィジカルアセスメント バイタルサインの考え方 急変時の予防、対応、観察 呼吸循環の基礎 不整脈への対応 敗血症の看護 深部静脈血栓症予防 ルートドレーン管理 呼吸、循環の基礎 人工呼吸器装着患者の管理と看護ケア 酸素療法 気切カニューレの管理 手術後の看護 術後合併症 RRSIについて 早期リハビリテーション
クリティカルケア ※救急看護と集中ケアを統合した新たな分野	8	・急性かつ重篤な患者の重篤化回避と合併症予防に向けた全身管理 ・安全・安楽に配慮した早期回復支援 ・身体所見から病態を判断し、持続点滴中の薬剤の投与量の調整を安全・確実にできる知識・技術	感染症患者のフィジカルアセスメントの視点 高齢者に多い救急疾患 酸素療法 人工呼吸器患者の看護 急変前兆 ショック、侵襲 PICS 救急初期対応 災害看護、支援と受援
皮膚・排泄ケア	14	・褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 ・患者・家族の自己管理およびセルフケア支援	褥瘡ケア ポジショニング演習 スキンケア スキンケア ストーマケア 医療関連機器圧迫創傷 オムツの選択や交換方法 自己導尿のセルフケア支援 排尿自立に向けた支援 失禁ケア フットケア
緩和ケア	10	・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 ・患者・家族への喪失と悲嘆のケア	グリーフケア エンドオブライフケア アドバンスケアプランニング 意思決定支援における看護師の役割 退院支援スピリチュアルケア 看取りのケア エンゼルケア リンパ浮腫ケア スタッフケア 終末期患者の家族看護 在宅での家族ケア 消化器症状 全身倦怠感 がん患者の口腔トラブルとケア 鎮静中のケア 外来で行うACP
がん化学療法看護・ がん薬物療法看護	8	・がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援 ・自宅での治療管理や有害事象に対応するための個別的な患者教育 ・患者・家族の意思決定支援と療養生活支援	抗がん剤の基礎知識 安全な投与と曝露対策 抗がん剤の副作用 薬物療法を受けながら在宅療養を続ける患者への支援 内服化学療法中の看護 治療期の意思決定支援 就労サポート 家族看護 ポート留置と投与管理 アピアランスケア(外見のケア) 経口抗がん薬内服中の症状マネジメント がん化学療法の安全な取り扱いと適切な投与管理 外来化学療法
がん性疼痛看護	8	・痛みの総合的な評価と個別的ケア ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和	医療用麻薬の知識と管理 具体的な疼痛の聴き分け方 痛みのアセスメントと薬物的アプローチについて 神経ブロック 高齢者の痛みのケア 認知症がん患者の疼痛ケア 病院でのACPの実際 疼痛マネジメント 難治性疼痛に対する看護 全人的苦痛の緩和 患者と家族とのコミュニケーション 施設、在宅における医療用麻薬の管理方法
訪問看護・ 在宅ケア	8	・在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援およびケースマネジメント看護技術の提供と管理 ・対象を取り巻くケアシステムの課題に対する解決策の提案 ・生活に焦点をあてた在宅療養移行支援及び多職種との調整・協働	在宅復帰に向けての移行支援 病院とステーションの連携 セルフケア向上への看護 訪問看護での倫理的問題 地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割 家族看護 他職種連携 ACP ターミナルケア 在宅でのリスクマネジメント 入退院支援について

分野名	活動できる講師数	知識と技術(一部) *日本看護協会HPより抜粋	研修内容
感染管理	37	・医療関連感染サーベイランスの実践 ・各施設の状態の評価と感染予防・管理システムの構築 ・医療管理感染の予防・管理に関する科学的根拠の評価とケア改善	施設ラウンド 標準予防策(手指衛生など) 疾患別感染対策 血液体液曝露防止 新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策 職員の感染予防 施設マニュアル見直し支援 サーベイランスの活用 薬剤耐性菌について アウトブレイクの対応 実技(個人防護具の着脱 吐物処理など) 感染制御一般 在宅、介護職の感染対策 外来、手術室、歯科、眼科クリニックでの感染対策
糖尿病看護	5	・血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援 ・身体所見から病態を判断し、インスリンの投与量の調整ができる知識・技術	糖尿病の基礎知識 治療とケア 糖尿病性腎症予防 インスリン治療導入時のケア 血糖パターンマネジメント 医療安全 インスリンインシデント 化学療法をうける糖尿病患者の血糖管理とケア 妊娠糖尿病 持続血糖測定器を用いた療養相談について 糖尿病患者への予防的なフットケア、爪ケアについて 糖尿病患者の人材育成
新生児集中ケア	1	・ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 ・生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	ハイリスク新生児に対する親子関係形成 人工呼吸器装着中のケア NICU入院中の母乳ケア 出生立ち合いにおける看護 出生前訪問と意思決定支援 小児在宅移行支援について
透析看護・腎不全看護	6	・安全かつ安楽な透析治療の管理 ・長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	血液透析、腹膜透析の看護 自己管理支援 シャント管理 腎代替療法選択に対する意思決定支援 慢性腎臓病の療養生活について 腎不全教室について 生体腎移植術前後のサポート
手術看護	8	・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理(体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等) ・周手術期(術前・中・後)における継続看護の実践	術前評価 術中の急変対応 術後期の疼痛管理 術中術後の看護・合併症 麻酔が患者に与える影響 心理支援 ラテックスアレルギー 二重手袋について 患者と家族の心理支援 手術体位の工夫 体温管理 術後期口腔ケアについて チームワーク 手術を受ける小児・認知症患者への関わり 術前術後の看護 喫煙が麻酔に与える影響 気腹による影響 麻酔科にある患者の看護
乳がん看護	4	・集学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ・ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	若年乳がん患者へのケア 意思決定支援 ボディイメージ変容に対する支援 アピアランスケア リンパ浮腫の予防 リンパ浮腫発症後のセルフケア(上肢) 乳がんと妊孕性 遺伝性乳がん卵巣がん(遺伝カウンセリング) プレストアウェアネス
摂食・嚥下障害看護	7	・摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 ・適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施	嚥下のメカニズム 生活に活かせる運動 高齢者の嚥下障害 口腔ケア 誤嚥性肺炎の予防 食事介助の基礎演習 認知症の方への食事支援 終末期栄養の意思決定支援 食に関するACP 嚥下評価方法
小児救急看護	2	・救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	家庭における病気の予防と子どもの見方 発達段階に応じたフィジカルアセスメント プレパレーションを含む看護ケアの提供 重度心身障害児の看護 感染対策 事故予防 虐待の早期発見 育児支援 医療的ケアをもち在宅療養をする子どものケア
認知症看護	21	・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和・予防 ・認知症の病期に応じたコミュニケーション手段の提案と意思決定支援	せん妄と認知症 認知症患者のアセスメント 急性期病院におけるケアについて コミュニケーション方法 認知症患者の対応方法 認知症について(疾患、症状等) 退院支援ケアチーム体制の構築 院内デイ 内服管理 抑制しない看護 療養環境の作り方 BPSDの予防と対応 パーソンセンタードケア 周辺症状の予防・対応方法
脳卒中リハビリテーション看護	7	・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持・促進のための早期リハビリテーション ・急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援	脳卒中の病態と特徴 最新治療 初期症状と対応 合併症予防 機能評価 ポジショニング 安全安楽なトランスファーと体位変換 腰痛予防 再発予防 生活の中でできるリハビリテーション看護 嚥下リハビリ 口腔ケア 廃用症候群とその予防について 患者体験から考える看護の技術 危険防止対策 高次脳機能障害への看護 退院指導 嚥下評価と嚥下体操
がん放射線療法看護	1	・がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 ・安全・安楽な治療環境の提供	放射線治療による有害事象と部位別のケア 安全安楽な治療環境の提供 他職種チームで取り組む放射線療法 通院治療で行える放射線治療について 放射線治療を受けた後の(放射性皮膚炎)スキンケア 痛みを緩和するための放射線治療(緩和照射)について がん放射線療法を受ける患者・家族にセルフケア能力維持とQOL向上を目指すポイント指導
慢性呼吸器疾患看護・呼吸器疾患看護	16	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援 ・症状緩和のためのマネジメント	呼吸フィジカルアセスメント 息切れのアセスメント 呼吸ケア 口腔ケア ACP支援 在宅酸素療法について 吸入療法について COPDのセルフマネジメントについて 禁煙支援 外来指導(禁煙、吸入、HOT、NPPV) 在宅における呼吸器疾患看護 在宅リハビリ 吸引方法 排痰援助 小児の呼吸ケア 重症心身障害児の看護 呼吸器疾患患者の栄養管理について ストレスマネジメント 在宅ハイフローセラピー
慢性心不全看護	6	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング	心不全の病態、症状治療について 心臓リハビリテーション 療養支援 在宅におけるケア 心不全緩和ケア 意思決定支援 在宅ASV支援 心不全増悪因子回避のためのセルフケア支援 日常生活指導 心不全の緩和ケア 心不全増悪事早期受診を促すためのセルフモニタリングである心不全ポイント指導 心不全症状のフィジカルアセスメント
精神科看護 (日本精神科看護協会認定)	5	・うつ病看護、精神科薬物療法看護、精神科訪問看護等	看護師のストレスへの対処 疾患の理解 認知行動療法 身体拘束減少に向けてできる看護ケア 精神科における看護倫理 死にたい人にどう関わるか 精神科の薬剤の作用副作用 精神科訪問看護 地域での困難事例検討 症状別看護 働く人のためのメンタルヘルスケア 精神科におけるコミュニケーション

自病院のニーズをもとに、内容テーマについては講師と事前打ち合わせでご検討ください。